

クリティカルシンキング（考えながら読もう）

2020

情報を読むときには、書いてあることを全て信じ込んだり、全部を否定したりするのではなく、一歩立ち止まって、自分の頭で考えてみるのが大切です。これを批判的思考（クリティカルシンキング）といいます。きちんとした証拠があるのか、結論に無理やり結び付けていないかなど、疑問を持ち、適切な「つつこみ」を入れながら読んでみよう。

＜疑問の持ち方の例＞

本当に？ （信ぴょう性）	どういう意味？ これは何？（定義）	いつから？いつまで？ （時間）	どこで？ （空間）
だれが？だれは？ だれにとって？（主体）	これまでどのようにし て？（経緯）	どのような？ どんな状態？（状態）	どうやって？ （方法）
どの順番で？ （順番）	どう分けられる？ （分類）	どれくらい？ （数量）	なぜ？ （因果）
他はどうか？ どちらが？（比較）	すべてそうなのか？ （限定）	これだけか？ （一般化）	これについては？ （特殊化）

《クリティカルシンキング》

1. 下の新聞記事を読みながら、疑問を持った部分になるべく多く（3か所以上）、線を引きます。思いつかない人は、上の＜疑問の持ち方の例＞を参考にしてください。

2. 線を引いた箇所から3つを選び、どんな疑問をもったのか、疑問に思った理由をプリントに書きます。

	疑問	疑問に思った理由
①		
②		
③		

3. グループで、どの部分に疑問を持ったのか、疑問に思った理由を1人2分間発表します。他の人の発表で、自分が思いつかなかった疑問があったら、下の欄に書きましょう。

発表者	疑問

探究学習の際には、考えながら資料を読むことが必要になります。また、読みながら疑問を考えることは、自分のテーマを見つけることにつながります。

ふりかえってみよう

- ・ 資料を考えながら読むことが（できた ・ なんとなくできた ・ あまりできなかった）
- ・ 班の人の疑問を聞くことが（できた ・ なんとなくできた ・ あまりできなかった）

①クリティカルシンキング

目的: 沖縄の探究学習、来年度の卒業論文に向け、資料を批判的に読むこと、問いを立てることを練習する

準備: タイマー(クラスに一つ)、ワークシート、画像を使用(教室でプロジェクタの電源を入れておく、次の時間も使います)

- ・授業が始まったら、出欠確認、ワークシートの配布をお願いします
- ・授業開始5分後より、放送で説明を開始します。

10分	<ul style="list-style-type: none">・放送でクリティカルシンキングについて説明 沖縄の探究学習に向け、資料を批判的に読むこと、問いを立てることの必要性を説明する。・活動の流れを説明・ワークシートの記入方法を説明 <p>☆説明終了後、放送を終了</p>	説明を聞く
20分	<ul style="list-style-type: none">・プリントの新聞記事を読み、疑問を持ったところに線を引く(めやす5分)・線をひいたところのうち3つについて、疑問とその理由を書く(めやす15分)	新聞記事を読み、ワークシートに記入
10分	<ul style="list-style-type: none">・グループになり、自分の疑問と、その理由を一人2分程度で発表する。	(3~)4人のグループで意見交換 プリントを提出する